

答申書附帯意見（項目案）

（入院医療）

- ① 患者像を踏まえた適切な評価の在り方を含む入院医療の機能分化・連携の推進について、次に掲げる事項等の影響を調査・検証し、引き続き検討
 - ・ 一般病棟入院基本料・特定集中治療室管理料等における「重症度、医療・看護必要度」の見直しの影響
 - ・ 療養病棟入院基本料等慢性期入院医療における評価の見直しの影響
 - ・ 夜間の看護要員配置における要件等の見直しの影響
- ② DPCにおける調整係数の機能評価係数Ⅱの置き換えに向けた適切な措置について検討するとともに、医療機関群、機能評価係数Ⅱの見直し等について引き続き調査・検討

（外来医療）

- ③ かかりつけ医・かかりつけ歯科医に関する評価等の影響を調査・検証し、外来医療・歯科医療の適切な評価の在り方について引き続き検討
- ④ 紹介状なしの大病院受診時の定額負担の導入の影響を調査・検証し、外来医療の機能分化・連携の推進について引き続き検討

（在宅医療）

- ⑤ 重症度や居住形態に応じた評価の影響を調査・検証するとともに、在宅医療を提供する医療機関の特性に応じた評価の在り方、患者の特性に応じた訪問看護の在り方を含めた質が高く効率的な在宅医療の推進について引き続き検討

（リハビリテーション）

- ⑥ 回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム評価の導入及び維持期リハビリテーションの介護保険への移行状況について調査・検証

（精神医療）

- ⑦ デイケア・訪問看護や福祉サービス等の利用による地域移行・地域生活支援の推進、入院患者の状態に応じた評価の在り方、適切な向精神薬の使用の推進の在り方について引き続き検討

（薬剤の適正使用）

- ⑧ 残薬、重複・多剤投薬の実態を調査・検証し、かかりつけ医とかかりつけ

薬剤師・薬局が連携して薬剤の適正使用を推進する方策について引き続き検討

(費用対効果評価)

- ⑨ 医薬品・医療機器の評価の在り方に費用対効果の観点を試行的に導入したことを踏まえ本格的な導入について引き続き検討
あわせて、著しく高額な医療機器を用いる医療技術の評価に際し費用対効果の観点を導入する場合の考え方について引き続き検討

(調剤報酬)

- ⑩ 患者本位の医薬分業の実現のための取組の観点から、かかりつけ薬剤師・薬局の評価等の影響を調査・検証し、調剤報酬の在り方について引き続き検討

(後発医薬品)

- ⑪ 数量シェア 80%の目標を達成するため、医療機関や薬局における使用状況を調査・検証し、薬価の在り方や診療報酬における更なる使用促進策について検討

(その他)

- ⑫ ニコチン依存症管理料による禁煙治療の効果について調査・検証
- ⑬ 経腸栄養用製品を含めた食事療養に係る給付の在り方について調査を行い引き続き検討

(薬価)

- ⑭ 未承認薬・適応外薬の開発の進捗、新薬創出のための研究開発の具体的な成果も踏まえた新薬創出・適応外薬解消等促進加算の在り方、薬価を下支えする制度として創設された基礎的医薬品への対応の在り方、年間販売額が極めて大きい医薬品を対象とした市場拡大再算定の特例の在り方について引き続き検討